

平成23年奈良県地価調査 結果概要

本県の地価は、依然として下落基調にあるが、下落率は縮小し、全用途（林地除く。）の対前年平均変動率が▲2.4%（昨年▲3.3%）となった。

〈住宅地〉

- 平均では、▲2.2%（昨年▲3.2%）となり、3年連続の下落となった。
- 昨年からの継続調査地点（167地点）のうち、155地点で下落、12地点で横ばいとなった。地価が下落した大半の地点で下落率は縮小している。
- 奈良市、橿原市などの利便性、住環境共に良好な住宅地では、地価が横ばいとなった地点が現れた。

〈商業地〉

- 平均では、▲2.7%（昨年▲3.8%）となり、3年連続の下落となった。
- 全ての継続調査地点（38地点）で下落となっているが、大半の地点で下落率は昨年より縮小している。
- 旧来の商店街等、繁華性の劣る地点で、比較的高い下落率となっている。